

## 祝 圏央道開通 境古河IC～つくば中央IC



2月26日(日曜日)15時 首都圏中央連絡自動車道の茨城県内区間、境古河IC～つくば中央IC間の28.5kmが開通しました。

これにより神奈川県茅ヶ崎から千葉県成田まで、東名高速、中央道、関越道、東北道、常磐道、東関東道の高速道路が圏央道で結ばれました。

新設された坂東ICでは、開通前の1月22日に「圏央道を歩こう!」と題してイベントが開催されました。

晴天に恵まれ風もなくウォーキングには最高の天候の中、10時30分より坂東市長、常総市長、境町長のあいさつがあり、ウォーキングがスタートしました。坂東ICから内回り外回り総延長4kmを歩くコースでした。

イベントでは、綱引き大会やドローンによる人文字の撮影、地域の物産販売などが行われ約12,000人が参加し、開通前の圏央道を歩く貴重な体験ができました。

2015年9月の豪雨で鬼怒川が決壊したことによる被害で開通が遅れましたが、強靱な盛土や橋脚で作られた圏央道ができたことにより災害時の救援物資の輸送にも役立ちます。

今回開通した区間は茨城県の県南県西地域に位置し、1985年のつくば科学万博の開催から32年、研究学園都市として発展してきましたが、昨今、つくばエクスプレスの開通で都心へのアクセスが向上したことにより住宅地の造成が行われ急速に人口が増加しています。

茨城県は、全国2位の農産物の生産があり、メロンやスイカなどのフルーツ、土浦のレンコン、米、常陸秋そばなどの特産品があり、農産物が道路網の整備により新鮮なうちに全国へ出荷することができます。

日立市や鹿嶋市の既存の工業地域に加え、圏央道のICができた地域では次々に工業団地の造成や物流倉庫の建設が始まっています。茨城県は企業の立地件数が3年連続全国1位となり、太平洋に面していることから港からの工業製品の輸出において物流の時間とコスト削減が期待できます。

また成田空港からのアクセス向上により観光客の訪問する機会が増え観光地としてホテルや飲食などの経済効果も期待されます。

これからの暖かい季節、新しくできた圏央道を通り茨城県へ行かれてみては。

### 第108号

発行所 酒井重工株式会社

住所 東京都港区芝大門1-4-8

電話 03-3434-3401

FAX 03-3434-3419

発行人 水内 健一



イベント



主催者挨拶



当社の土工用振動ローラが活躍しました

## ConExpo2017 開催

世界三大建設機械展示会（ドイツの Bauma、フランスの INTERMAT、アメリカの ConExpo）のひとつである ConExpo2017 が、3月7日から3月11日の5日間にわたり、アメリカ・ラスベガスで開催されました。出展社数は2500超、展示面積は232,000m<sup>2</sup>を誇り、来場者は13万人超という展示会でした。

規模としてはドイツの Bauma に次ぐ2番目の展示会ですが、出展している当社にとっては最もエキサイティングな展示会となります。

今回の展示では搭乗型ローラが10台、そのうちの8台が Tier4FINAL エンジン(4次排ガス規制対応エンジン)を搭載した新型ローラとなりました。

運転席の無い小型機種も8台展示し、総勢18台の迫力のあるブースを提供することができ、当社ブースは千客万来となり大変にぎわいました。

土工用振動ローラでは新機種の SV544FB (機械質量14t) が他社とは異なる TF ロール (パッドフートドラムにフラットロールシェルをかぶせることができる)の装着やブレード、キャビンの搭載で存在感を示していました。

大型舗装用振動ローラでは新機種の SW994 (機械質量14t) が新開発のキャビンを搭載して、快適性を飛躍的に向上しました。サカイ独自の4,000rpm 高周波振動性能を維持して、エンジン回転数だけを抑えて施工するエコモードを搭載して燃費の向上、環境への配慮も実現しています。

当社ブースを訪れた方の9割以上がアメリカとカナダからでした。現アメリカ大統領のインフラ投資拡大策は同国の建設市場への追い風となり、展示会場も MADE IN AMERICA を強調するロゴが目立ち、会場全体が今後の先行きに対する期待に満ちている印象でした。他にも中南米を中心に海外12カ国から当社代理店やユーザーの訪問があり、営業部隊はブースを離れられない様子でした。

展示車両の感触ですが、特に土工用振動ローラの TF ロールが珍しい様子で、覗き込んで観察している方が多く、なかなかの好感触。

「東南アジア地域と北米地域では、求められるスペックは異なるものの、シンプルで耐久性の高い製品を求めているという根本は同じである」とは、とある営業マンの言葉です。

まったくもってその通りと納得しながら、10ポンド(約4.5kg)のステーキをほおぼりながらラスベガスの夜も「少し」楽しんできました。



“これから”にぎわう SAKAI ブース



HS67ST や SV204T (フラットロールシェル付) はアメリカでも好評販売中です。

# 点検・整備要領 ～タイヤローラ散水ポンプ・呼び水方法 1～

タイヤローラは冬季や寒冷地で車輛を保管する際に凍結での破損防止やメンテナンスの為に散水ポンプや散水タンクなどから水を抜く必要があります。そのため、稼働再開時に揚水が出来ないとの問い合わせを多く頂きます。

そこで今号では、散水タンクに水が無い場合の散水ポンプ・呼び水方法を説明します。

## 操作手順

手順1 散水タンク確認(コックを操作して水が入っているか確認)



手順2 呼び水タンクに水を補給(約 3.6L)



手順3 ポンプ点検窓を開ける



手順4 散水ポンプのコックを写真1(☑)から写真2(☒)の位置にして散水ポンプケースが満タンになったらコックを写真1(☑)の位置にする



写真1



写真2

### 手順5 散水フィルタ横のコックを写真3・写真4のポジションにする



写真3



写真4

### 手順6 座席シート横のレバー位置を揚水ポジションにし、エンジンをかけ散水ポンプのスイッチ（写真6の矢印）をONにしてエンジン回転を上げてください。

揚水が出来ない場合はレバー、コックの位置を再度確認してください。または、呼び水の量を確認し、減っていたら呼び水を再度補給してください。

※散水ポンプのケース内に十分な呼び水が入っていないと水を吸い上げません。



写真5 揚水ポジション

#### ・タイヤローラの揚水能力

揚程：4.2m (7mホースを車輛から降ろした長さ) のとき  
大型タイヤローラで機種毎に多少の差はありますが、  
概ね15分程で散水タンクが満タンになります。

※揚水が出来ていない場合は、エア噛みをしている、揚水ホースの取付け部やホースの亀裂等からエアを吸い込んでい  
る可能性が高いので確認してください。

※揚水に時間が掛かる場合は、散水ポンプ内のインペラが傷や  
摩耗で不具合を起こしている可能性がありますので最寄りの  
営業所へ連絡をお願いします。

写真6 揚水の際は矢印の  
スイッチを押す

## 新製品紹介 ～新型ハンドガイドローラ HV58～

酒井重工業は、ご好評頂いているハンドガイドローラ HV51ST をモデルチェンジし、ハンドガイドローラ HV520 および HV620 の姉妹機として、新製品“HV58”を全国販売いたします。

“HV58”は、低騒音型建設機械であるとともに日本陸用内燃機関協会（陸内協）の自主規制に対応しました。

今後とも、サカイの締固め機械にご期待ください。



HV58